

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 30 年 6 月 28 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-4710
ki-somu@city.yokohama.jp



【ごみの収集車両の説明に耳を傾ける東京横浜ドイツ学園の児童の様子】

ドイツ学園と都筑区の国際交流

6月2日、都筑区内にある東京横浜ドイツ学園にてサマーフェスティバル 2018 が開催されました。資源循環局都筑事務所並びに都筑区地域振興課からは、ごみの収集車両や分別ゲームを展示し、3R 夢プランへの理解協力を呼びかけました。



主に、ドイツ語圏のみなさんにも伝わるよう、ドイツ語で表記されたごみ分別ポスターを用意したほか、分別輪投げゲームもドイツ語に翻訳しました。更には、Trennung (分別) や Papier (紙) などのドイツ語を職員が覚え、ドイツ学園のみなさんとの交流が深めるような工夫も凝らしました。

楽しそうにゲームに参加する園児のみなさんに加え、20年以上前から横浜に住んでいる保護者からは「横浜はごみの分別を進めて、環境にやさしい街になりましたね」といったコメントもいただきました。環境問題に積極的に取り組むドイツらしく、今回のフェスティバルでは、リサイクル施設の

見学や地域の清掃活動の様子が発表され、リサイクルファッションショー等も披露されました。

在ボツワナ竹田大使が都筑区役所に来庁されました

都筑区と親交の深いアフリカ南部ボツワナの在ボツワナ共和国日本国大使館より竹田浩三特命全権大使が6月1日に都筑区役所を訪問され、区長と懇談しました。



都筑区では平成20年の「第4回アフリカ開発会議」横浜開催を契機に児童絵画の交換を通じて、区内の小学生とボツワナ国の児童が交流を深める「都筑・ボツワナ交流児童画展」や区民まつりへのボツワナ大使館ブースの出展、国際理解講座の実施等、同大使館を通じた市民交流プログラムを続けています。

今回の訪問では、「第7回アフリカ開発会議」や、ボツワナからの出場の期待がかかる柔道や陸上など、2020年の東京オリン

ピック・パラリンピックの話題が話し合われました。スポーツ面からの交流をさらに深めていきたいことが確認されました。

世界銀行「高齢社会のまちづくり」研修プログラムで横浜市の取組事例を紹介しました

5月21日から5日間で開催された「世界銀行「高齢社会のまちづくり」研修プログラム」において、中南米や中東欧、アジアの開発途上国の代表に対して横浜市の取組を紹介しました。



©Tokyo Development Learning Center

世界銀行の東京開発ラーニングセンターが主催したこのイベントに、建築局住宅地再生大谷担当部長が「高齢社会における持続可能な郊外住宅地づくり」とのテーマで、持続可能な住宅地推進プロジェクトの「十日市場町」と「たまプラーザ地区」の取組事例についてプレゼンテーションを行いました。その後パネルディスカッションでは意見交換が行われました。